

研究主題

主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

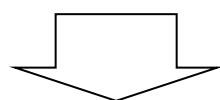
中学年（第3学年）分科会提案資料

児童の実態

- 自分の考えをもつことが苦手な児童が数名いる。友達と相談したり,アドバイスをもらったりすれば,自分なりに課題を進めることができる。
- 相手の話を聞くことが苦手な児童が多いうえ,学年始めは,話し合い活動を取り入れられなかった。
- 自分の考えを相手に伝えることができる児童は多いが,相手の考えを受けて,自分の考えを深めていくことに課題が残っている。

児童に付けたい力（指導事項）

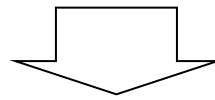
- ◎相手に伝わるように,理由や事例などを挙げながら,話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。
(思(1)イ)
- 考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。
(知(2)ア)



思考力・判断力・表現力



知識
技能



分科会テーマ（目指す児童像）

互いの考えを受けとめ合い,自分の考えを明確にする児童の育成

テーマに迫るために（年間を通じて意識的に取り組む手立て）

- ・各単元で指導事項を明確化し,その項目を重点的に指導する。また指導事項にふさわしい言語活動を,単元を貫いて位置づけることで,目的をもって話すこと・聞くことの活動に取り組ませている。

	教材名	指導重点事項	言語活動
9月	山小屋で三日間すごすなら	目的を意識して,集めた材料を比較したり,分類したりする。	グループや学級全体で話し合って考えををまとめたり,意見を述べあったりする。
10月	はんで意見をまとめよう	目的を意識して,話題を決め,集めた材料を比較したり,分類したりして,伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	グループで話し合い,考えをまとめる。
2月	わたしたちの学校じまん	相手に伝わるように,理由や事例などを挙げながら,話の中心が明確になるよう話の構成を考える。	グループで学校のよいところを紹介する発表を行う。

日常活動の取組として

- ・朝の会の日直のスピーチ ・メモ名人になろう ・インタビューラリー
- ・他教科でも意見の交流を取り入れる。

例：社会「スーパーマーケットのくふう」 総合「地域安全マップをつくろう」

第3学年国語科学習展開案

令和3年2月18日(木) 第5校時
 杉並区立高井戸第二小学校 3年2組 34名
 授業者 主幹教諭 野田 隆嗣

1 単元名 「伝えたいことを理由をあげて話そう」(全8時間)

学習材 「わたしたちの学校じまん」(光村図書 3年)

2 単元の目標

- ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などに注意して話することができる。(知(1)イ)
- ◎相手に伝わるように,理由や事例などを挙げながら,話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(思 A(1)イ)
- ◎話の中心や話す場面を意識して,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などを工夫することができる。(思 A(1)ウ)
- 考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)

3 単元の評価規準・単元に即した具体的評価規準

観	ア 知識及び技能	イ 思考・判断・表現 【A 話すこと聞くこと】	ウ 学びに向かう力 【主体的に取り組む態度】
単 元 の 評 価 規 準	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などに注意して話している。 <(1) イ> ○丁寧な言葉を使うとともに,敬体と常体との違いに注意しながら話している。 <(1) キ> ○考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解している。<(2) ア>	○「話すこと・聞くこと」において,相手に伝わるように,理由や事例を挙げながら,話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。<A(1) イ> ○「話すこと・聞くこと」において,話の中心や話す場面を意識して,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などを工夫している。<A(1) ウ>	○進んで言葉の抑揚や強弱,間の取り方などに注意し,学習の見通しをもって,グループで発表しようとしている。
学 習 活 動	<第一次>		○単元全体の見通しをもち,進んで話す題材「学校の自慢」を選ぼうとしている。

	<p>〈第二次〉</p> <p>○考えとそれを支える理由や事例などの情報の関係について理解している。</p> <p>○言葉の抑揚,強弱,間の取り方などに注意して話し方を考えている。</p>	<p>○相手に伝わるように,理由や事例などを挙げながら,話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。</p> <p>○話の中心や話す場面を意識して,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などを工夫することを理解し,話し方を考えている。</p>	<p>○進んで主張と事例の関係を捉えて読み,学習課題に沿って自分の考えをまとめて発表しようとしている。</p>
	<p>〈第三次〉</p> <p>○相手を見て話したり聞いたりとともに,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などに注意して話している。</p>	<p>○話の中心や話す場面を意識して,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などを工夫している。</p>	<p>○単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめ,今後にかかそうという思いをもっている。</p>

4 学びの構造転換に向けた単元の構成

(1) 学習材について

本単元では,学校の良さを新1年生に伝えるために発表動画を撮影することを目的としている。その動画は,近隣の幼稚園・保育園の年長さんに見てもらう。自分たちが考えた学校の良さを伝えるための理由や事例を集める活動を通して,発表の準備を進めていく。その中で,グループ内で話し合い,言葉の抑揚や強弱,間の取り方を意識したり工夫したり,個人では認識していなかった対象の価値に気づいたりすることができる教材である。

指導事項に関わって

相手を意識して理由や事例などを挙げながら話の構成を考慮ことや,話す際に話し方を工夫することが本単元の重点である。自分たちの考えを相手に伝わるように理由や事例を集め,提示する資料を選別し,話の中心が明確になるように組み立てられるように指導していく。

言語活動に関わって

グループで学校の良さやその理由を出し合う際には,付箋を利用し,似たような考えをまとめたり,理由や事例を整理したりしていく。また,付箋を並べ替えることで,話の中心を明確にしたり,相手により良さが伝わるにはどのような順番で話したらよいのかを整理したりすることができる。

また,自分たちの発表をロイロノートで撮影し,振り返ることで相手に分かりやすく伝える発表に向けて工夫できると考えより相手を意識した話し方ができるよう指導していく。

教材・題材に関わって

2学期には総合的な学習の時間で「地域安全マップ」の発表を2年生に行った。下級生への発表ということでとても意欲的に取り組むことができた。そこで,未来の1年生への発表ということで意欲的に,相手をしっかり意識して取り組むことができると考え,この単元での活動を設定した。

（２） 学習者について

国語の授業に限らず、児童が書いた文章や新聞を読み合って、アドバイスをする学習はこれまでも経験している。ただ、そのアドバイスを生かして自分の作ったものを改善して、さらに深めていこうとする児童は限られており、学級として話し合い活動が効果的に行われているとは言いがたい。また、相手の課題を伝えることが苦手な児童が多く、アドバイスもあたりさわりのないものを伝えて終わっている姿が見られ、話し合い活動の進め方についても、指導が必要である。

また、自分たちで学び方を選ぶことが苦手な児童が多く、学習の仕方を教師が細かく示していくことが多かった。一人でじっくりと考える、グループ内の友達や他のグループの友達と話し合うなど、様々な学び方を経験させることで、自分に合った学び方を選択し、学習を進められるようにしたい。

（３） 研究主題に迫る手立て

①相手意識をもつための工夫

児童が相手意識をもって活動できるように、この学習が実際の中で生かされるようにした。新１年生に学校の良さを知ってもらい、楽しみに入学してもらうため、この単元で作成した発表動画を交流のある幼稚園や保育園で流してもらうことにした。単元の始まりには、児童へ「今年度は、交流ができなかったので、新１年生に向けた学校自慢の動画を作って欲しい」と呼びかけることにした。児童はまだ学校のことを知らない新１年生に伝えるように話そうと相手意識をもち、発表を工夫できると考えた。

②話し合い活動が活発にできるグループづくり

グループで活動していく中で、学習計画を立てたり、発表内容を決めたりするため、お互いの意見をまとめていく必要がある。意欲的に取り組めるように、自慢したい内容が同じ児童同士でグループを組むことにした。

③付箋を活用した思考を整理

おすすめポイントを整理しやすいように付箋を活用することにした。おすすめポイントを付箋ごとに書き出し、画用紙に貼って整理することにした。付箋だと貼り替えがしやすく、グループでの話し合いを反映しやすいと考えた。これまでの学習でも話し合いの内容を整理したり、説明文や物語の構成を考えたりする際に付箋を活用してきた。

5 学習指導計画（全8時間（総合 1時間）本時3時間目）

次	時間	学習過程	主な学習活動 ■ポイントレッスン	・教師の関わり ◆評価規準【評価方法】
第一次 出 合 い 課 題 設 定	1	1.学習するテーマについて考えを出し合う。	○学級全体「学校の自慢」を出し合う。 ○学習課題を設定する。 ○自慢したいことをいくつか自己決定し、発表したいテーマを決める。	・学校の自慢を自由に発表させ、考えを広げられるよう、支援する。 ・発表する相手や目的を確かめてから話し合う。
	2	2.学習課題の解決方法を考えて、学習計画を立てる。	○クラス全体で発表動画を撮影するまでの準備を考える。	◆主【発言】 単元全体の見通しをもち、進んで話す題材「学校の自慢」を選ぼうとしている。
第二次 探 究 協 働	3 本時	3.考えを創る。	○グループで自慢する理由について話し合う。 (おすすめポイント) ○2分以内で発表することができるように、おすすめポイントを精選する。	・グループで話し合う時には、付箋を利用し、考えを視覚化して整理できるようにする。 ◆知・技【観察・ノート】 考えとそれを支える理由や事例などの情報の関係について理解している。 ◆思・判・表【発言・ノート】 相手に伝わるように理由を考えることができる。
	4	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>■ポイントレッスン (話の組み立てについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初め,中,終わりの構造。 ・経験や事例をもとにする。 ・どんな言葉を使うと分かりやすいか。 <p>(相手意識)</p> </div>	○発表原稿を作成する。 ○資料の示し方や、撮影する場所などについて話し合う。	◆知・技【観察・ノート】 考えとそれを支える理由や事例などの情報の関係について理解している。 ◆思・判・表【観察・ノート】 相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 ◆主【発言】 進んで主張と事例の関係を捉

探 究				えて読み, 学習課題 に沿って自分の考えをまとめて発表しようとしている。
協 働	5	<div data-bbox="371 365 1011 613" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■ポイントレッスン (話し方の工夫について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の強弱や抑揚, 視線, 速さ ・間の取り方 ・言葉づかい </div>	<p>○相手に分かりやすく伝えるためには, どのような話し方の工夫をすればよいのかを考える。</p> <p>○発表原稿の続きを作成する。</p> <p>○発表原稿に, 話し方の工夫など書き込んでいく。</p>	<p>◆知・技【発言・ノート】 言葉の抑揚, 強弱, 間の取り方などに注意して話し方を考えている。</p> <p>◆思・判・表【発言・ノート】 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫することを理解し, 話し方を考えている。</p> <p>・相手に分かりやすく伝わるように発表するには, どのような工夫があるのかを全体で共有する。</p>
総合	1	4. 動画の撮影をする。	<p>○ロイロを使用して, 発表の様子を動画撮影する。</p> <p>○自分たちの選んだ場所で撮影を行う。(課題によって, 伝えたいことがより伝わりやすい場所を選ぶ。例: 図書室 校庭など)</p>	(総合での評価)
探 究	6	5. 改善点を考える。 (話し方・原稿・撮影場所など)	<p>○自分たちの発表動画を振り返り, どういった改善点があるのかを話し合い, 原稿などの修正をする。</p>	<p>・他の班の発表の様子を, ロイロから視聴して, 参考になる工夫を取り入れてよいことを伝える。</p> <p>・ポイントレッスンで指導し</p>

協働				<p>た, 話の構成, 話し方の工夫を想起させる。(掲示など)</p> <p>◆知・技【発表・ノート】 言葉の抑揚, 強弱, 間の取り方などに注意して話し方を考えている。</p> <p>◆思・判・表【発表・ノート】 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫することを理解し, 話し方を考えている。</p>
第三次協働	7	6. 動画の撮影をする。	○これまでの学習を踏まえ, 発表の動画を撮影する。	<p>◆知・技【発表】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などに注意して話している。</p> <p>◆思・判・表【発表】 ・話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫している。</p>
	8	7. 自分の考えをまとめる。	○単元全体を通して, 相手に伝わる話しの構成の考え方や, 話し方の工夫について大切な事を振り返る。	<p>◆主【発言・ノート】 ・単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめ, 今後にかそうという思いをもっている。</p>

6 本時の指導 (3/8)

(1) 本時の目標

- ・ 考えと、それを支える理由や事柄の関係を理解し、伝える対象を意識しながら、「学校じまん」のおすすめポイントを決めることができる。

(2) 本時の展開案

学習活動	指導事項	☆教師の関わり ◇評価
1 前時までの学習を振り返り、話し合いの目的や伝える相手、発表の条件などを確かめる。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 250px;"> <p style="text-align: center;">伝える相手 「来年度の新一年生」 →今はようち園や保育園の年 長さん</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 250px;"> <p style="text-align: center;">発表の条件 ・動画を撮影する。 ・1グループ2分程度</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 400px; text-align: center;"> <p>テーマのおすすめポイントを決めよう。</p> </div>	☆話し合いの目的や伝える相手を随時確認できるよう、掲示物を用いて振り返る。
2 自分の考えを付箋に書く。		☆スムーズに話し合いを始められるように、自分の考えをもつ時間をとる。 ☆考えたことは、付箋に書いておくことで、話し合いの際に意見を整理しやすくする。
3 グループで話し合い、おすすめポイントを決める。 ・おすすめポイントを出し合う。 ・おすすめポイントをしぼる。 ・理由を明確にする。	・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げること。	☆画用紙と付箋を活用し、お互いの考えの共通点や相違点を比べやすくなるようにする。 ☆話し合ったことが分かりやすくなるよう、決まったことや話し合ったことは、書き込ませる。 【思・判・表】(発言・観察) ◇相手に伝わるように、理由や事例をあげることができる。 ☆「伝える相手を意識して話し合いができているか」という視点で話し合いを振り返る。 ねらいに沿った話し合いができているグループを称賛し、良さを価値づける。 【思・判・表】(発言・観察) ◇相手に伝わるように、理由や事例をあげることができる。
4. 学習を振り返る。		☆「決めたおすすめポイントと、その理由」という視点で振り返り、次時への見通しをもたせる。